

好天の日が続き、各地で紅葉の見ごろを迎えています。

学校では、六年生が修学旅行に向けての事前学習（平和学習）に勤しみ、全校生に向けて平和公園で捧げる折り鶴の作製を呼びかけています。

さて、十月中旬に、令和四年度全国学力・学習状況調査結果についてお知らせをしました。今回は、全国学力・学習状況調査結果より児童質問紙の国語科に関する項目の回答結果を下段グラフにお示しし、子どもたちの学習意欲の向上について考えてみたいと思います。

グラフは、設問に対する肯定的回答（当てはまる。どちらかといえば、当てはまる。）の割合を、全国・大阪府・本校と比較したものです。一問目の「国語の勉強は好きですか。」という問いに対して、八割近い子どもたちが肯定的回答をしています。また、二問目から四問目の回答でも、全国・大阪府と比較して、高い割合となっています。「好きこそ物の上手なれ」ということわざがあります。物事に取り組むときに、「好きである」という気持ち、人を「やる気」にさせてくれるものです。自ら主体的に取り組むために大前提になる大事な気持ちだと思います。このような気持ちの高まりが、「学力」の結果として表れてきているものと思います。

## 国語の勉強は大切です！

学校での取り組みとしては、学習指導要領が重視する「主体的・対話的で深い学び」を授業で実践していくために、校内授業研究の主題を「子ども自ら考え、表現できる授業をめざして」とし、今年度は、国語科を中心として日々の授業実践を積み重ねているところです。

子どもたちが学習を通して自らの生活と関連づけながら学習を振り返る「主体的学び」、友だちどうしや先生と話し合って考えを深めていく「対話的学び」、自ら課題（問題）を見つけて解答を導こうとする「深い学び」となるように研究をすすめているところです。

昔から言われている「読み・書き・計算」ができることは、基礎学力の定着に必要なことです。学年の子どもたちの実態に合わせて、日常の中で繰り返し繰り返し実践していく必要があると考えています。また、学習に落ち着いて取り組み、周囲の雰囲気は温かな言語環境であることもとても大事なことと思います。

そして、一人ひとりの子どもたちが、自身の思い・思いを人に素直に伝え合い、人の思い・思いを聴き、自らの考えを新にしていこうとする、温かな人間関係づくりに今後も努めていきたいと思います。

3年3組 国語科授業



1.国語の勉強は好きですか。

2.国語の勉強は大切だと思いますか。

3.国語の授業の内容はよく分かりますか。

4.国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

